

しゃきょうだより

社協(しゃきょう)は社会福祉協議会の略称です。
みなさん「しゃきょう」と呼んでください。

平成30年1月号

vol. 155

〈1月号のテーマ〉
第四次地域福祉活動計画

ささえよう



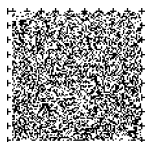
あけましておめでとうございます 今年もみんながニッコニコになりますように!



第二地区の高齢者と小学生の交流会を初めて企画しました。この日は山形市立第二小学校4年生が、手話や歌を披露してくれて、その後の交流の時間では、手作りの紙相撲をはじめ、あやとり、折り紙、将棋、かるた、トランプ、オセロなど思い思いに工夫したものを準備してくれました。おかげで、とても楽しいひと時を過ごせ、交流会は大成功でした。小学生も高齢者も笑顔いっぱいニッコニコ!さらに、地区社協役員さんも民生委員・児童委員さんも先生達もニッコニコ!みんながニッコニコで過ごせますように、今年も山形市社協は地域住民とともに「福祉文化のまちづくり」をめざします。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第二地区高齢者・小学生ふれあいのつどい
～赤い羽根共同募金配分事業～



誰もが安心して暮らせるまちづくり



社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

〒990-0832 山形市城西町二丁目2-22
TEL.645-8061 FAX.645-9236
<http://www.yamagatashishakyo.or.jp>

お互い様の心が広がる地域をめざして



新年のごあいさつ

社会福祉法人
山形市社会福祉協議会
会長 齋藤 順治

輝かしい新年を迎えられた市民の皆様にご心からお慶び申し上げます。

日頃皆様には、山形市社会福祉協議会の事業・活動に温かいご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

今年は、三年目を迎える第四次地域福祉活動計画の推進を図るとともに、山形市ですすめる、我が事・丸ごと地域づくり推進モデル事業を協働で推進していきます。

ふれあいやまがた「福祉文化のまちづくり」の理念のもと、助け合い、支えあう福祉の心が人々の生活に溶け込み、根づき、それが文化となつて受け継がれていくことを目指し、役職員及び地区社協共々ますます精進して参りますので、皆様のなご一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様にとつて健康で幸せな素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。



赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございました

昨年10月1日～12月31日、全国一斉に共同募金運動が実施され、山形市内では、山形駅前や七日町大通りなどで、街頭募金が行われました。

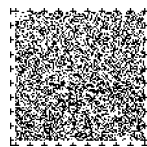
また、各学校や幼稚園、保育園や企業などの職場での募金のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

街頭募金協力団体(25団体)

- ・あすなろ保育園
- ・表千家同門会山形県地区
- ・向陽園北部支援センター
- ・木の実北保育園
- ・ジブラルタ生命
- ・第五地区福祉協力員連絡会
- ・千歳認定こども園
- ・つくも保育園
- ・デイサポートにじいろ
- ・ボーイスカウト山形第一団
- ・ボランティアサークル「スクール23」
- ・山形県社会福祉協議会
- ・山形県社会福祉士会
- ・山形市遺族連合会
- ・山形市障害児者訓練教室連絡協議会

店舗提供のご協力(3団体)

- ・山形市女性団体連絡協議会
- ・山形市身体障害者福祉協会
- ・山形市北部生活学校
- ・山形市民生委員・児童委員連合会
- ・山形市役所
- ・山形市連合婦人会
- ・山形市老人クラブ連合会
- ・山形地区保護司会
- ・ワーク・ポケット
- ・個人のボランティアの方々
- ・イオン山形南店
- ・おーばん島店
- ・おーばん山形東店



山形市成年後見センター

平成29年度

山形市市民後見人養成基礎講習(2期生)開催

こんにちは。山形市^{せいねんこうけん}成年後見センターです。私達は、山形市から委託を受け、成年後見の相談をお受けしています。成年後見というと、かた〜いイメージがあるかもしれませんが…。

でも、成年後見制度は、生活に身近な制度で、判断能力の低下等により、生活に支障が出た場合に、後見人等がその方の生活を支援する法的仕組みです。

ただいま、地域の身近な方にもその一役になってもら

うべく、市の計画に基づき、市とセンターとで、今年度は、市民後見人候補者として2期生を育てています。地域に住む志ある方々です。皆さん、市民後見人をどうぞ応援してください!!



地域に住む
市民の後見人を
養成しています

ボランティアセンター

子育て応援事業

平成29年10月

「子ども食堂をつくろう」講座開催

■ 講座1日目は市内で子ども食堂「楽(らく)」を開いているボランティア団体・山形でのひら支援ネットの会長 西上紀江子様より子ども食堂を始めたきっかけや、活動するうえで必要になる事等ご講演いただきました。

■ 2日目はグループに分かれて子ども食堂に参加してきました。参加者は「アットホームで温かい雰囲気」「大家族のよう」等楽しく参加できたようです。

ボランティアセンターでは子どもの孤食防止などを旨とする「子ども食堂」の立ち上げとそのボランティアの育成に向けた講座を3日間にわたり実施しました。

■ 3日目の講座はグループに分かれてワークショップです。

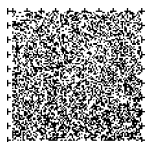
「実際に子ども食堂を作ってみよう」というテーマで自由に食堂のチラシを作ってもらいました。各グループ特徴のある食堂が出来上がりました。



身近な地域に居場所
ができることを願い、今
後も企画していきたい
と思います。

社協が実施したほんの一部ですが、私たちはこのような講座を開催しました。

平成29年度 社協が取り組んだ福祉のまちづくり



出羽 地区

(出羽小・第七中)

緑ヶ丘集会所で毎月開催！ 『レインボーサロンの買い物バス』

サロンを始めて10年ほどになりますが、最近では、免許を返納された方、お一人暮らしの方など、買い物をしたくても店まで遠くてなかなか歩いてはいけな
い方が多く、「買い物バス」を運行できないかという要望がありました。

山形市社協の生活支援コーディネーターがサロンの方々のニーズを調査したうえで、漆山デイサービスセンターとのコーディネートを行いました。

お試しの買い物バスでしたが、8名が参加し買い物を楽しんでいただきました。

みなさん、結構買い物の量がおおく、後部座席は品物で埋め尽くされました。

もちろん買い物もできてよかったが、みなさんと集会所の外で、これまでとはまた違った形の交流ができて、気分転換になったと喜んでいただきました。

お昼は買い物してきたお弁当で昼食会を開きました。



さあ！
行きましょう♪

(東沢小・第一中・附属小・中)

東沢 地区

障がいがあってもなくても 安心して暮らせる東沢

民生委員・児童委員、福祉協力員と障がいのある方も交えた話し合いを進めています。「障がいってどこまでを言うの?」「障がいのある方への接し方って?」「サロンに参加してもらうには?」など素朴な疑問を出しながら、自分たちなりの答えを見つけるために会議は続いています。障がい者サロンの開催も検討中です。

福祉ネットワーク会議



高瀬 地区

(高瀬小・高橋中)

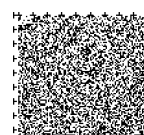
住民の声から始まった、誰でも 気軽に立ち寄れるお茶飲みサロン 二本堂集会所

風光明媚な高瀬川が流れるその脇に二本堂集会所があります。ここでは、月一回地域の方が気軽に立ち寄れるお茶飲みサロンが開催されています。

地域住民の「気軽に集まれる場所がほしい」という声から町内会と民生委員・児童委員、福祉協力員が中心となり発足しました。みんなで楽しくおしゃべりしながらお茶飲みをするのが中心ですが、輪投げや健康講座、体操なども行われています。

また、町内会からも大きな協力をいただき、サロンの広報活動はもちろん、今年度からは集会所にカラオケ機材やDVDプレイヤーなども設置されました。

住民同士が顔を合せ、みんなが楽しめるサロンとなっています。



各地区での支え合いの輪が
広がっています。

生活支援コーディネーターと地域の方々力が合わせ、日々活動をする中で、たくさんの素敵な取り組みが生まれています。今年もたくさんの活動が展開されるよう、皆様と共に進めていきたいと思っています。

第十地区

(第十小・宮浦小・第二中) 山形商業高等学校 百歳体操

第十地区の山形商業高等学校で毎週水曜日開催の百歳体操は、久保田二丁目町内会とあかねヶ丘一丁目町内会の合同開催です。一昨年の夏に始めて一年が経ちました。二つの町内会ではみんなの励みになることをしたいと企画し、参加者が1,000名達成したらお祝いをしようと考えました。昨年11月ついに参加者1,000名達成！百歳体操参加者に好きな飲み物を振舞いました。達成記念として市の保健師さんからもお祝いの言葉をいただき、ささやかな楽しいひと時を過ごしました。



大郷地区

(大郷小・第七中) みんな集まれ！ 天神町サロンスタート

大郷地区、天神町で今年度よりサロンが始まりました。町内会長さん、副会長さん、民生委員・児童委員さん、福祉協力員さんが中心となって奇数月に開催しています。毎回、楽しい企画で参加者のみなさんがサロンの日を心待ちにしています。

俺さ任せろ

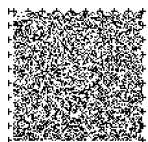


第五地区

(第五小・第一中) 地域の☆高校生ボランティア

今年も、雪の季節がやって来ました。地域では除雪が難しい高齢者等がいます。第五地区では、地域の除雪活動を山形南高等学校ボランティアからご協力をいただいています。今年度も雪が降る前に地域の福祉関係者と学校との打合せ会を11月に開催しました。

町内会の声として「若い学生が来て手伝ってもらうとありがたいなあ。」「本当に助かっている。ありがとう」といった声が上がっています。高校としても、自分達の活動が地域に役立つのであれば協力したい。地域と学校が一体となって支援活動ができています。今年度もまた、文武両道の精神のもと、学生も地域の方と一緒に話し合いから参加しています。学生の活動に応援よろしくお願いします。

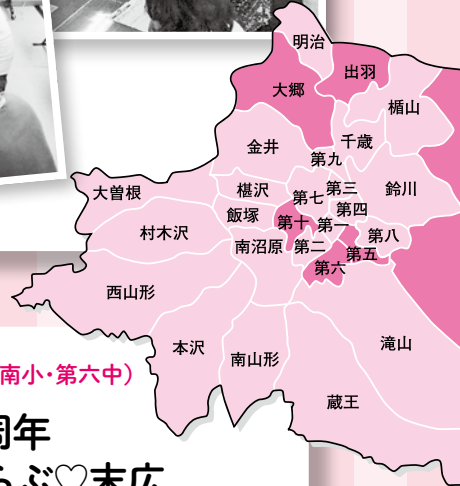
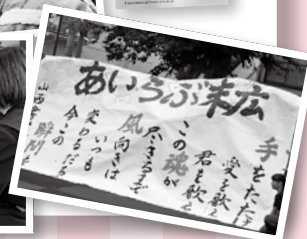


第六地区

(第六小・南小・第六中) 祝3周年 あいラブ♡末広 楽市楽茶

「顔が見える町」を合言葉にスタートした活動も3年。みちのく屋台こんにやく道場さん、山形西高等学校生徒会のみなさんもいっしょに活動しています。今年度は山形市のコミュニティファンド補助事業の対象となり、リーフレットを作成することができました。

リーフレットができました



山形落語愛好協会の案内



落語好きのメンバーが集う団体です。「笑いは健康と元気の源」をモットーに山形市を中心に山形県内各地で活動しています。メンバーの中には十数名のアマチュア落語家が在籍し、実践の場となる落語会を多数開催することを通して、アマチュア落語家の育成だけでなく落語の面白さや笑いを通じた健康増進などを広く普及する活動をしています。落語を聴くのが好きな人や実際に自分で高座に座ってみたい人など、落語が好きな方ならだれでも入会大歓迎です。



講座終了後は出前落語で大活躍！

山形落語愛好協会では、小学校の授業や福祉施設、敬老会、いきいきサロンなどへ落語家を派遣しています。演目1本あたり15分～25分くらいです。

音響機器や高座（落語家が座る赤い台）など、落語に必要な機材をすべて用意していますので、コンセントひとつお借りするだけで会場設営が可能です。（舞台セッティングの心配がありません）ご希望の団体はボランティアセンターへお問い合わせください。

落語ボランティア養成講座

● お問い合わせ

山形市社会福祉協議会 ボランティアセンター
TEL.645-9233 FAX.645-9236

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

● 会場

山形市総合福祉センター 山形市城西町二丁目2-22

電話で
お申し込み
ください

＼好評につき第2弾！／

2月開講 落語を学び笑いと健康を届けよう！！

新しい趣味を持ってボランティアを始めませんか？山形市社協では、地域で誰もが生き生き生活できる社会を目指しています。

今回はサロンや介護施設のイベントに大人気の落語を学び、それをきっかけとしてボランティア活動に参加する人材を養成します。

- 開催期間** 平成30年2月3日（土）～7月7日（土）
全9回講座／午前9時30分～午前11時30分
- 対象／定員** 山形市近郊に在住で、ボランティア活動に関心のある方／先着20名
- 講師** 山形落語愛好協会
- 参加費** 2,000円
- 申込締切** 1月15日（月）まで



やさしいきもちを
ありがとう
寄付者紹介

みなさんからのご厚志に
対して、心より厚くお礼申
し上げます。ご寄付につ
きまして、平成29年9月1日
から平成29年11月30日ま
での分を掲載いたします。
（敬称略・順不同）

山形市社会福祉基金

・山形市立商業高等学校
生徒会

・（有）ハーバーコーポレーション

・めん蔵 馬見ヶ崎店

・めん蔵 白山店

・亞馬屋 山形駅前店

山形市善意銀行

● 物資・労力

・株式会社ニラク吉原店

・スーパードール劇場山形店

・フランスベット株式会社

・メデイカル山形営業所

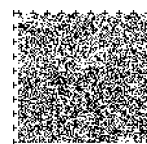
・田中写真館

・メガネの相沢

・エスパル山形店

・（株）クリーンシステム

・（株）クリーンシステム協力会





JR山形駅東西自由通路でのパネル展示の様子

訪問介護の魅力を発信

訪問介護の魅力を伝えるために、「山形介護の未来を考える会（代表阿部憲史阿部クリニツク院長）」では、福祉の勉強をしている東北文教大学、山辺高等学校、東海大山形高等学校の生徒と協力し、JR山形駅東西自由通路でパネル展示を行いました。撮影やパネルのデザインは東北芸術工科大学の映像学科の学生を中心に進め、訪問介護の中で利用者と触れ合いの様子や日々の仕事の様子を写真で紹介しました。また、学生による介護川柳、介護実習の感想、訪問介護の魅力、将来の夢等の作品を展示しました。



併せて市総合福祉センターにて「訪問介護の存在意義」をテーマに山形市長寿支援課長による基調講演の後、シンポジウムを開催。少子化や世帯構成の変化に伴い、家族に変わる介護の仕事がますます必要になります。ぜひ多くの方々に訪問介護について関心を持っていただきたいです。

10月号「赤い羽根共同募金」についてご紹介したところ、たくさんの方の感想をいただきましたので一部ご紹介します。

● 赤い羽根共同募金がこんなにたくさん集まっているとは、知りませんでした。みんなの小さくても大きい支援、頼もしく感じました。（20代男性）

● 少しの募金でも続けることが大切だと思います。これからもっとずっと続けたいと思います。（60代女性）

● いろんな団体や地区で有効に使われていることがよく理解できました。（70代女性）

● 赤い羽根は一番身近にできるボランティアですね。（30代女性）

● 募金活動で街頭に立っている時、「おばあちゃんご苦労様。これから寒さが来ますから気をつけてね。」と学生さんに励まされ、とても嬉しくなりました。たくさん協力もしてくれた学生さん。ありがとうございます。（80代女性）



寄付および賛助会員の募集

住民参加のまちづくりを進めるため、ご支援のほどよろしく願います。

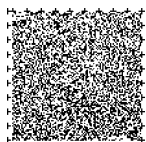
会費

個人 三、〇〇〇円以上
団体 一〇、〇〇〇円以上
法人 一〇、〇〇〇円以上

ご協力下さる方へ

恐れ入りますが、次の連絡先までご連絡ください。必要な手続きをお伝えします。

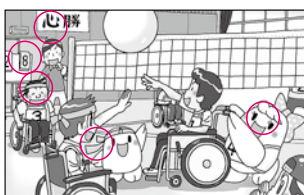
TEL 645-19230
FAX 645-18015



- ・一般社団法人日本造園建設業協会山形県支部
- ・山形市鮎商組合
- ・金勝寺護持会
- ・宇治川純子
- ・村山栄子
- ・匿名
- 山形市社協新規会員紹介
- 賛助会員
- ・二藤部隆

ちがうところはどこ？

上と下の絵で5つのちがうところをさがしてね！



ちがうところはどこ？
10月号 (vol.154) 答え
①横断幕の文字 ②点数
③メガネ ④ハチマキ
⑤愛ちゃんのまつげ

あなたの身近にある「福祉」

例) 町内会で健康体操をしている、
シニア世代が地域の活動に積極的に参加している、
おばあちゃんが作ったおせちを食べてあげたよなど

第四次地域福祉活動計画
つたえよう

4月号のテーマ
第四次地域福祉活動計画「つたえよう」

次回「しゃきようだより」4月号に
ご意見をお寄せください。



愛ちゃんと希望くん。

山形市社会福祉協議会は、より多くの方と「ふだんのくらしのしあわせ」をこれからも一緒に考えていきたいと思ひます。

社協(しゃきよう)は社会福祉協議会の略称です。この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は4月号です。

第四次地域福祉活動計画

ささえよう



しゃきようだより
暮らしの声

市民の皆様からいただいた声を、
ひとつひとつ大切に。

1月

あなたのまちの『地域自慢』

たくさんさんの「暮らしの声」をいただきました！
その一部をご紹介します！

● 町内の子どもたちがすれ違ふたびに元気にあいさつを交わしてくれまふ。防犯面でもいいですね。安全に通学してくださいね。(60代女性)

● 朝の忙しい時間帯の、ほつと温まる場面ですね。

● 近くの公民館で体の不自由な子ども達と隣組のおじいちゃんおばあちゃん達で芋煮会をしていました。子ども達も大変喜んでいましたよ。笑いは福祉のはじまりですね。(20代男性)

● ふくしは、ふだんのくらしのしあわせ 笑いは幸せの象徴ですね。

● 町内の方が常に祖母に目をかけ、声をかけてくれ、やさしい町だと嬉しくなりました。(30代女性)

● 見守り活動が日常に行われており、素敵な町内ですね。

山形市総合福祉センター
「かすみが温泉」
利用券(4名分)
抽選で20名様

クイズを
答えてPresent プレゼント!

○にあてはまる文字を入れてください。
ヒントは2ページをよくみてね。

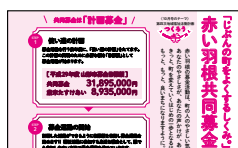
クイズ:「○○○○の心」

● 応募方法/ハガキにクイズの答えと必要事項を記入し、「福祉のまちづくり第一係」までお送りください。当選者は発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先/〒990-0832 山形市城西町二丁目2-22
社会福祉法人 山形市社会福祉協議会
「福祉のまちづくり第一係」あて

● 締切/平成30年1月31日(水)(当日消印有効)

①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号
⑥「しゃきようだより」の感想 ⑦次号テーマの暮らしの声



10月号(vol.154)
クイズの答え
「じぶんの町を
よくするしくみ。」(p2)

